

『みんなにまわられて』



新川真理さん

をして「われた人形を見て、すばりわかるのです。

でも、シートベルトをちゃんとつけていればこんなことは起きません。たつた一本のベルトがいのちをまもっています。

これからは、しっかりとリと頭に入れ車にのりたいです。

くっそをかけてくれます。そして、てをつけじでこっしゃにあるいしてくれます。だからあんしんです。

がつうでは、「かえりのやくそく」があります。

「ひびだしません。」

みんなでいってから、さようならをします。かえりは、「ねんせいのかいこっしゃ」にあるきます。みんなでならんであるおもす。スクールガードのひともまもつてします。

わたしは、いつもひとりではありません。おうちのひと、せんせい、ちいさのひとみんなにまわられて、あんしんしてがつうにいきりますがでれます。

これからが、おうちのひとのやくそくがつうでのやくそくをしつかりまもつて、くふまじをつけてあるまだいです。

そして、じぶんののやはじぶんでもあります。たいです。

『冬の道に気をつけよ!』



加藤杏奈さん

しうがつうにゆうがくして、あるいはかえるもつになりました。

「ひびだしません。だめよ。くるまはおゆうにじまらないんだよ。」

「しうがつうがカチカチしていろひれば、わたつちやだめ。」

まいにちおはあちゃんはいつもうになりました。しうつしてまことちうつんがうつしがゆきました。

でも、あるじがつかいをたのまれました。うきつからつて、やがつひがしそうになつたとき、くるまがをゆうにめのまえをはしつていきました。しうどうがドキドキしてびっくりしました。おせあちゃんのじつでじるといじをねじりました。

あたは、しゆうだんとうつうはんでいます。おはは、しゆうがはしだにあつまります。

「まわりやん、おはもう」

おへせらのねがれんが、こつわかれし

ていました。もしとなりにのついたら大ケガをしていたかもしぬません。

おじいさんの車は、雪道のまがりくねつた上り坂で、すべてはんたい車せんにとびだして、たい向車にぶつかつてしましました。

話を聞いたひとにはびっくりして、こわいのとおじいさんが心配なことでなみだが出そうになりました。

おじいさんも相手の人も、大ケガにはなりませんでした。でも、車はこわれてしまいました。

わたしのすんでいる秋田けんは雪が多いので、冬はじくに気をつけなければなりません。

おじいさんも気をつけはいたのですが、車のタイヤはすべりだすと止まらないそうです。急にハンドルをきつたり、ブレーキをふんだりすると、すべてしまつてかつてに動いてしまうそうです。

まだ、やがわのじきは、前がせんせん見えなくて、こわい思いをしたことがあります。

今まで事にあわなかつたけれど、事になつてしまつと車がこわれるだけでなく、人もきずついてしまいます。死んでしまうことがありますあるかもしぬません。

わたしたちは車にのるのになれていてが、気をつけないと事になるということをわざわざはいけないと思います。

うん転手の人におねがいがあります。

雪道だけでなく、いつもうん転をするときは事にならがらじうつに気をつけてください。

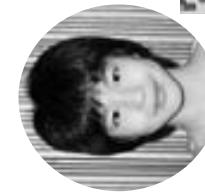
わたしたち小学生も、歩くときや自てん車にのるとき、いつも気をつけてせつたい

事にあわないようになります。

これからは「じいじわい思いやかなしい思いをしないために、交通安全をまもつて、交通安全に気をつけたいと思います。



細田満里奈さん



淡路うららさん



菊地真華さん

